

教 科	地理歴史	科 目	歴史総合
履修条件 対象生徒	必修 デザイン科 3 学年		
学習目標	・ 世界の中での日本という大きな視点から、近代史を捉える ・ 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化によって、人々の生活や社会のあり方がどのように変化したのかを理解する ・ 歴史上の出来事から、私達の生活や課題解決に活かせる内容を考察する ・ 当時の人々がなぜそのようなことをおこなったのか、特に対峙する場合は両者の感情を想像し、自分ならどうするかを考える		
学習方法	〔授業〕 ・ 人々の感情や生活を想像できるよう、生徒の対話の機会を増やす ・ 学習内容の理解が深まるように、登場人物を整理して物語のように学ぶ 〔家庭学習〕 ・ 日々伝えられる出来事に興味や関心を持つよう促し、ニュースに触れる機会を増やす ・ 学習内容の定着を図るため、教科書を読む機会を増やす 〔補習・その他〕 ・ 補習は設定しない（受験などで必要な場合は個別に対応する）		
学習計画 と ね ら い	< 1 学期末考査まで > 第 1 章 近代化と私たち < 2 学期末考査まで > 第 2 章 国際秩序の変化や 大衆化と私たち < 学年末考査まで > 第 3 章 グローバル化と 私たち	○資料を読み解き、近代化した時代の特色を理解する ○産業革命以降、世界がどのように結びつき、ヨーロッパによる秩序がつくられてきたのかを学ぶ ○日本の近代化を世界的な歴史の流れの中で捉える ○資料を読み解き、国際秩序の変化や大衆化した時代の特色を理解する ○二度の世界大戦の要因やもたらしたものを考える ○当時の人々の生活を知り、平和について考える ○資料を読み解き、グローバル化した時代の特色を理解する ○冷戦時代を経た世界の構図の変遷について考える ○世界史と現代的な諸課題について、対話を通じて対策や解決策を見つけていく	
評価規準	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	・ 世界の中での日本という大きな視点から、近代史を捉えている ・ 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化によって、人々の生活や社会のあり方がどのように変化したのかを理解できている	・ 歴史上の出来事から、私達の生活や課題解決に活かせる内容を考察できている ・ 当時の人々がなぜそのようなことをおこなったのか、特に対峙する場合は両者の感情を想像し、自分ならどうするかを考えることができる	・ 積極的に左記の各能力を身に付けようとしている ・ 他者との対話の場で、自身の意見を表明できている
評価方法	授業への参加、定期考査、課題および提出物を総合的に判断して評価します		